

世界への疑問

黒田インターナショナル

黒田 毅

全ての貧困が存在する中、世界の富は半分をその5%の他人が所有する。世界には良識と昇進という人々が存在すること、また、平等性や基本的人権において、言葉を有することがあるのである。

これらは人々の存在は平等なのか、それとも、エリートは自己を優れたものとして有するのかという疑問を与える。

これらは未来という現実へ世界が自己の選択を求められるはずである。

全ての政治家は、この疑問への答えを求められる。なぜなら彼らは王であるからである。

未来は必ず選択において存在する。その未知の永遠性は、選択が現実を与えるのである。